

交通バリアフリー教室 in 水戸市立内原小学校

茨城運輸支局では、令和6年10月29日（火）に水戸市立内原小学校の4年生57名を対象に「交通バリアフリー教室」を開催しました。当日は、茨城交通株式会社のノンステップバスを使用して、車いすや高齢者疑似体験セットを使った乗降・介助体験を実施しました。体験を通じて、車いすを使用している方や高齢者の方の大変さと手助けする大切さを学びました。

【開催概要】

- 日 時：令和6年10月29日（火） 10:10 ～ 11:55
- 場 所：水戸市立内原小学校
- 参加者：4年生 57名
- 主 催：茨城運輸支局、水戸市
- 協 力：(公社)茨城県地方自治研究センター 研究員 有賀絵理氏〔講師〕
(一社)茨城県バス協会、茨城交通(株)

【プログラム】

- オリエンテーション
- 車いす体験／介助体験
- 高齢者疑似体験／介助体験
- グループ発表
(体験してわかったこと、難しかったこと、良かったこと)
- まとめ

参加者の感想

- ・（車いすは）バスに乗ったり降りたりするのがとても大変ということが分かった
- ・（高齢者疑似体験は）膝、肘が曲げられなくて、（バスから）降りるときが怖かった
- ・車いすはバスに乗るとき介助者がいないと無理だと思った
- ・（バスの乗務員は）スロープを出したり入れたりするのは大変だろうなと思った
- ・車いすに乗っている人をバスに乗せるのは大変だった。手伝ってあげることが大切だなと思った。
- ・これからは困っている人を助けたいです
- ・手伝うとなんだかすっきりするし、助けてあげると良い気持ちになる
- ・（バスの乗務員が）優しく助けてくれて嬉しかった
- ・（高齢者疑似体験は）足や手が思い通りに動かなくて、お年寄りはとても大変だなと思いました。
- ・相手の気持ちをよく考えることが大事だと気づいた